

赤十字さが

さがの人たちにもっと伝えたい、佐賀の赤十字。



唐津市の災害ボランティアセンターに
派遣された唐津赤十字病院の看護師

令和5年7月九州北部豪雨災害における 佐賀県支部の救護活動〔P.2〕

- 101年目の青少年赤十字〔P.4〕
- 地域連携小児救急センターのご案内〔P.5〕



公式 Instagram 更新中



公式 Facebook 更新中



令和5年7月九州北部豪雨災害における 佐賀県支部の救護活動

令和5年7月7日（金）から降り続いた大雨によってもたらされた「令和5年7月九州北部豪雨災害」。

福岡県、佐賀県、大分県では線状降水帯が発生し、猛烈な雨や非常に激しい雨が降り続き、各地で河川の氾濫や土砂災害が発生。県内でも人的被害が出るなど大きな被害をもたらしました。

日本赤十字社佐賀県支部では、7月10日（月）から第1次救護体制を敷き、救護活動を開始。佐賀県庁など関係機関に連絡調整員（リエゾン）を派遣するなど積極的な情報収集を行い、現場で求められるニーズに対応すべく活動を行いました。

日赤佐賀県支部が行った主な活動

7月10日

日本赤十字社佐賀県支部第1次救護体制を発令
連絡調整員を県庁に派遣し、情報収集を開始

7月11日

救援物資を唐津市浜玉町の避難所に搬入

7月13日

大町町にある資機材保管用倉庫から唐津市災害
ボランティアセンターへ、土砂撤去等に必要な
資機材を搬送

7月14日～23日

唐津市災害ボランティアセンターへ唐津赤十字
病院の看護師を派遣

7月22日、23日、8月12日

佐賀市災害ボランティアセンターへ看護奉仕団
員、救急法奉仕団員を派遣

被災地への物資搬送（唐津市）

1 看護師等の派遣

唐津市、佐賀市の災害ボランティアセンターに看護師等（唐津赤十字病院、赤十字ボランティア）を延べ17名派遣し、災害ボランティアの熱中症対策、健康管理、けがの手当などにあたりました。



2 救援物資の配布

毛布や安眠セット、緊急セット等の救援物資を唐津市の避難所に配布しました。その他にも、民間企業（久光製薬株式会社）との協定に基づく支援物資として、リフレッシュボディシートを現地で活動する支援者を対象に配布しました。





3 関係機関との協働

県社会福祉協議会からの依頼を受け、大町町にある資機材保管用倉庫から唐津市災害ボランティアセンターへ、土砂撤去等に必要な資機材を搬送しました。関係機関と協力しながら、現地のニーズにあわせた物資の提供や赤十字ボランティアの派遣を行いました。



4 義援金の受付

現在、佐賀県を含む4県を対象に「令和5年7月7日からの大雨災害義援金」を受け付けています。この義援金は、各県が設置する義援金配分委員会を通して被災された方々へ全額お届けし、生活再建を支援します。

佐賀県では令和6年3月29日（金）まで募集していますので、皆さまの温かいご支援・ご協力をお願いします。

※日本赤十字社佐賀県支部および各市町の日赤窓口（社会福祉協議会等）でも受付中です。

「令和5年7月7日からの大雨災害義援金」(佐賀県指定)

振込口座番号：佐賀銀行呉服町支店（普）2060633

口座名義：日本赤十字社佐賀県支部 支部長 山口 祥義

「令和5年7月7日からの大雨災害義援金」

振込口座番号：佐賀銀行呉服町支店（普）5033056

口座名義：日本赤十字社佐賀県支部 支部長 山口 祥義

対象県：秋田県、石川県、佐賀県、福岡県

※通信欄に「令和5年7月7日からの大雨災害義援金」と明記してください



今後も、日本赤十字社佐賀県支部は被災された方々の声に耳を傾け、寄り添った支援を続けていきます。

《 101年目の青少年赤十字 》

昨年(2022年)は、青少年赤十字の創設100周年の記念すべき1年でした。

101年目となった今年も変わらず、赤十字の精神に基づき、人のために自ら考えて行動できる子どもたちの育成を目指し、教育現場で、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」を実践目標とした多様な活動を支援するため、今年以下に取り組みました。

4年ぶりの宿泊付開催！

～第75回佐賀県青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター～

青少年赤十字の夏の一大イベントである「リーダーシップ・トレーニング・センター」。

コロナ禍で令和元年度より中止や日帰り開催が続いていましたが、今年度は小学校と中学校の部を北山少年自然の家にて宿泊付で開催することができました！

また、高校の部は今回初めて、「佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館」で開催し、日本赤十字社の父、佐野常民について深く学習しました。

参加者は小中高あわせてちょうど100名でした！

ご協力いただいた先生方、VS(ボランティアスタッフ)の皆さん、ありがとうございました！



キャンドルサービスの様子
(小学校の部、7月31日～8月1日)



心肺蘇生の方法を学ぶ参加者
(中学校の部、8月2日～8月3日)



歴史館で見学
(高等学校の部、7月29日、8月6日)



朝のつどい
(中学校の部)

博愛のこころを子どもたちに

～令和5年度九州ブロック青少年赤十字指導者養成講習会～

8月20日(日)～21日(月)、佐賀市の四季彩ホテル「千代田館」で「令和5年度九州ブロック青少年赤十字指導者養成講習会(兼 佐賀県青少年赤十字指導者育成研修会)」を開催しました。

本講習会は、学校教育と青少年赤十字との関連について理解を深め、青少年赤十字活動の中核となる指導者の育成を目的として開催しているもので、今年九州各県から21名(県内12名、県外9名)にご参加いただきました。

当日は、佐賀県内の青少年赤十字指導者22名が講師・運営を担当し、参加者は、講義だけでなく、体験を通して学びを深めました。



フィールドワーク「暗黒の国」で
目が不自由な方の感じ方を体験する参加者



各学校の青少年赤十字活動の現状と
課題についてグループで話し合い



参加者とスタッフの集合写真

お子様の急な 発熱、体調不良は 地域連携小児救急 センターへ (唐津赤十字病院内)

新型コロナウイルスも
診療します

診療します



平日の
夜間・深夜も
受け付けます

平日の診療時間

20:00～
翌朝6:00



＼お気軽にお問合せください／


地域連携小児救急センター 唐津赤十字病院内(唐津市和多田2430)


専用
電話

0955-75-2110

※事前に必ずお電話ください

診療
時間

平日 20:00～6:00

土曜 18:00～6:00

日祝 9:00～12:00

(受付 11:30まで)

13:00～6:00



受診の際は、
以下のものをご持参ください

健康保険証

診察券(来院歴のある方)

診療に関する情報(お薬手帳など)

6月3日(土)～4日(日) 赤十字の訓練に「佐賀県災害派遣福祉チーム(佐賀DCAT)」が初参加!

日本赤十字社佐賀県支部 常備救護班要員研修会

赤十字常備救護班要員研修会に、初めて佐賀県災害派遣福祉チーム(佐賀DCAT)に参加いただきました。佐賀DCATの活動や取り組みから、救護班員は災害時の福祉支援の重要性を学ぶことができました。また、避難所アセスメント実習では、DCATチーム員に被災者役を担っていただき、被災者の感情やニーズを丁寧に表現していただいたことで、実習がより実践的なものになり、多面的な支援の重要性を学ぶことに繋がりました。参加したDCATチーム員からは、「被災者役の経験を通じて、被災者の困難さや心の負担を深く理解できた」という声をいただきました。

日本赤十字社では今後も関係機関と平時からの顔の見える関係を構築していきます。



避難者役から話を聞く
看護師と主事

*DCATとは、災害が発生した直後に被災地に入り、避難所で高齢者や障害者への支援を行う専門家チームのことで、都道府県単位や民間の社会福祉法人などで構成されています。

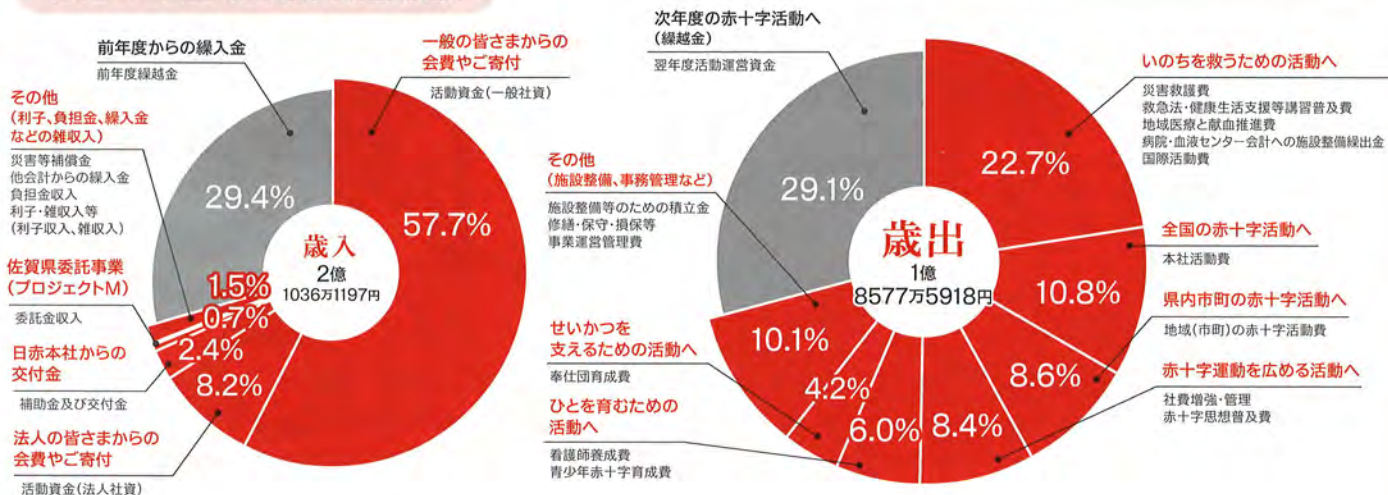
6月12日(月) 令和4年度事業報告及び歳入歳出決算が承認されました

令和5年度第1回支部評議員会

評議員会は佐賀県支部の重要事項を審議する機関です。支部及び唐津赤十字病院の令和4年度の事業報告及び決算が承認され、佐賀県赤十字血液センターの令和4年度事業報告が行われました。

令和4年度 医療施設特別会計決算	
収入	10,578,524,126
支出	9,723,350,879
差引	855,173,247

令和4年度 佐賀県支部決算



注1) 前年度からの繰入れ及び次年度への繰出しは、年度当初の運転資金確保のためにしています。注2) 被災者の方に全額お届けする「災害義援金」は、上記には含めていません。注3) 歳入と歳出の差額は、災害義援金の会計処理上生じたものです。

8月17日(木) 4年ぶりの開催! 日赤探検隊

日本赤十字社の創設者、佐野常民の出身地佐賀市近隣の小学生10人が集まり、佐賀県支部と佐賀県赤十字血液センターを訪問。日本赤十字社の活動を知ってもらうため、災害食作り、救護車や救護倉庫、献血バスの見学、無線を使ったゲームなどを体験しました。



無線を使ったゲーム体験



7月2日(日)

福岡ソフトバンク ホークスとコラボ!

ファイト!九州応援デー いのちのリレー

福岡ソフトバンクホークスと佐賀県赤十字血液センターが協力し、7月2日(日)にゆめタウン佐賀にて「ファイト!九州応援デー」のイベントを実施しました。当日献血にご協力いただいた方にはホークスオリジナルタオルを進呈し、さらに抽選でアンバサダー選手のサインボールやサイン色紙、ユニホームを進呈いたしました。

当日は72名の方にご協力いただきありがとうございました。



8月6日(日)

明治安田生命佐賀支社と サガン鳥栖とコラボ!

シャレン!で献血

明治安田生命・Jリーグ全クラブ・日本赤十字社が協働展開する献血啓蒙活動「シャレン!で献血」の一環として、明治安田生命佐賀支社とサガン鳥栖と佐賀県赤十字血液センターが協力し、ホームスタジアムである駅前不動産スタジアムにて献血を実施しました。献血にご協力いただいた方にはJリーグオリジナルハンカチを進呈し、さらにご応募いただいた方には抽選でオリジナルグッズが当たるキャンペーンを実施しました。

当日は69名の方にご協力いただきありがとうございました。



8月2日(水)

キティちゃんが唐津赤十字病院を訪問!

“Sanrio Nakayoku Project”



「キティちゃん、遊びに来てくれてありがとう」

この活動は、株式会社サンリオによる社会貢献活動“Sanrio Nakayoku Project”の一環であるCharacter Aid(キャラクター訪問による心のふれあい)として実施されたものです。株式会社サンリオは病気や障がいと闘っている子どもたちをはじめ、多くの人々を応援するため、全国の病院などを訪問されており、今回はキティちゃんが8月2日(水)に唐津赤十字病院の小児科病棟へ遊びに来てくれました。

当日はキティちゃんが入院中のお子さんの病室をサプライズ訪問し、ギフトをプレゼント♪キティちゃんのおかげでお子さんはもちろん、保護者の方や職員みんなが笑顔になりました。またお会いできるのを心から楽しみにしています。





佐賀県立唐津西高等学校 2年(取材当時)
たなか さとし
田中 哲史さん

いのちを救った赤十字講習

今年6月、佐賀県立唐津西高等学校のグラウンドで、部活動の練習試合前に突然意識を失った男性に対して、近くにいた数名が救命処置を開始。同校2年の田中哲史さんは「AEDを持って来て!」の声に素早く反応し、50メートル離れた校舎にダッシュし、AEDを届けました。男性は一命を取り留め、後日、田中さんを含め4名には、唐津市消防本部から感謝状が贈られました。

田中さんは、今年3月、学校で行われた日本赤十字社佐賀県支部の救急法短期講習を受けていました。

◆今回AEDを持ってくることになった経緯は?

たまたま倒れた人の近くにいて、処置をしていた人が「AEDを!」と叫ばれたのを聞いて、赤十字の講習でAEDがどこにあるのか教わっていたので、校内まで走って取りに行きました。

◆AEDを取りに行くときはどんな気持ちだったか?

少しでも時間が遅れたら命に関わると思い、「1秒でも早く」と思って走りました。

◆救命処置に携わった後で、講習の感想は変わった?

講習を受けたときは、今後本当に必要になるのかな、正直面倒くさいなと思っていたけど、講習を受けて知識があったから今回動くことができたと思います。もし知識がなかったら動けずに人のいのちが失われていたかもしれないので、救急法の講習は必要だなと思いました。

◆将来はどんな人になりたいか?

まだ進路は決めていませんが、今回のこともあって、社会福祉士などの仕事に興味を持つようになりました。



↑ハートラちゃんと感謝状を持つ田中さん
←実際に持ちだしたAED

佐賀県立唐津西高等学校では、毎年1年生と教職員を対象に救急法短期講習(心肺蘇生とAEDの使い方を学ぶ講習)を受講されています。いざというとき、家族や周りにいる人がすぐに手当を行えば、救命の可能性は高くなります。

日本赤十字社ではこれからも講習事業を通して、いのちを救うための知識・技術を普及していきます。



講習の様子

意識のない人を発見したときは?

救急車をすぐに呼ぶこと、救急車を待つ間に心肺蘇生やAEDを用いた電気ショックを行うことで救命の可能性が上がります。これらを同時に行うためには、協力者が必要で、処置を行う人、救急車の手配をする人、AEDを持ってくる人など役割を分担することが重要です。



3施設問い合わせ先

佐賀県支部

〒840-0843 佐賀市川原町2番45号
TEL 0952-25-3108

唐津赤十字病院

〒847-8588 唐津市和多田2430番
TEL 0955-72-5111

佐賀県赤十字血液センター

〒849-0925 佐賀市八丁畷町10-20
TEL 0952-32-1011

ご愛読
ありがとうございます



第1回

そらいち



日時

11/25 (土)

AM11:00-PM3:00

場所

まちかど広場&TOJIN館

★書道パフォーマンス (12時・14時)

★洋服・雑貨・陶器等のバザー

★食品提供 (ご寄付200円~)

★お菓子やアート作品の物販

★ワークショップ (有料)

・アート系 ・足湯

等...



売上・ご寄付は居場所そらの運営に使わせて頂きます